

中期経営計画

(令和2年度～令和4年度)



はじめに

- 当社は、昭和26年に大阪市が半額出資し、残りを倉庫・港運・船社等・関係業界が出資する公私共同出資による埠頭事業経営の株式会社である大阪埠頭倉庫株式会社として設立されました。その後、平成7年には此花区において石炭・コークス・鉱石類などバラ貨物を専門に取扱う大阪北港埠頭株式会社と、また、平成13年には大正区において鋼材を専門に取扱う大阪港鉄鋼共営埠頭株式会社と合併し、現在では大阪港唯一のサイロ埠頭のほかバラ貨物埠頭・鋼材専門埠頭などを運営する総合物流事業を展開しており、事業の拡大や多様化を目指しています。
- 倉庫業及び港湾運送等物流業界におきましては、慢性的な人手不足が続いていましたが、現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により先行きが全く不透明な状況となっています。
- このような情勢の中においても、私たちは、環境の変化や諸課題に着実に対応し、収益基盤の強化と企業価値の更なる向上を目指します。



経営理念

1 社会への貢献

私たちは、充実した施設ときめ細やかなサービスにより大阪港における物流の円滑化を図り、消費者の生活の安定・向上と産業の振興に貢献します。

2 人を活かした経営

私たちは、社員の個性と能力を活かした活気ある組織の下で、健全な経営基盤を築き、株主のために価値を高め、社員の幸福づくりに努めます。

3 ルールに即した経営

私たちは、健全な社会の一員として、法令・社会規範・商道德に準拠した経営を行い、常に消費者、荷主、需要家との信頼関係を強固にし、維持するよう努めます。



経営方針

- 大阪圏における麦類の安定供給、鉱磁石等バラ貨物・鋼材等の物流の円滑化に寄与するとともに、これらの事業を通じ消費者の生活安定と大阪港の振興発展に貢献することを目的とする。
 - 常に企業の社会的責任を認識するとともに、法令等を遵守し、各事業部門の的確な判断と勇気ある営業活動を進め、積極的な企業活動を展開する。
 - 大阪市所有の当社株式売却による民営化・自立化を控え、更なる経営の効率化、体質改善、財務基盤の強化を進める。
- 1 常に消費者を視野に入れ、社会規範に適合した企業活動の推進
 - 2 安全第一の作業で、無事故・無災害の達成
 - 3 荷主から預かった貨物の品質管理の徹底
 - 4 明確で具体的なコスト意識と、コスト削減に対する不断の努力
 - 5 新規の顧客・貨物・事業への営業力強化
 - 6 人材育成・能力開発等の教育・研修



前中期経営計画の総括

	中計作成前年度	H29-H31中期経営計画		中計達成状況 計画比	
	平成28年度実績	最終年度計画	最終年度実績	増減	率 (%)
売上高 (百万円)	3,074	3,148	3,165	17	0.5
経常利益率 (%)	7	7	8	-	-
小麦取扱量 (千ト)	212	221	190	▲31	▲14
鋼材取扱量 (千ト)	343	373	340	▲33	▲8.8



中期経営計画(1)

1 営業力強化、取扱貨物量の維持・拡大【経営方針5】

既存事業を確実に継続し、新たな商材獲得、新たな事業展開を実行する。

売上向上・事業拡大を目標としていた2つの組織を整理し、「営業推進PT」を立ち上げ戦略的な営業活動に取り組む。

2 安全な職場づくりの強化【経営方針2】

安全衛生に関する活動の活性化、施設稼働状況等の情報共有、不具合箇所の修繕、突発事故防止等安全管理体制の強化を実行する。

業務運営に関する課題を協議する事業推進委員会業務部会を発展させた「業務推進PT」を立ち上げ、業務効率の向上を目指す。

3 荷主・需要家からの信頼深化【経営方針1】

企業の社会的責任を社員一人ひとりが認識し、また、リスク管理を徹底することは、積極的な企業活動を推進するうえで必要であるとの認識のもと、コンプライアンス意識の向上に資する研修の実施や、有識者の知識・助言を活用し、法令遵守を推進する。



中期経営計画(2)

4 社内の意識改革の推進【経営方針2, 3, 4】

社員自らが考え、実行できる業務改善の仕組みを強化することで、作業効率の向上を図り、豊富な商品知識に裏付けられた在庫管理・品質管理を徹底する。

5 長期的・計画的な人材育成の推進【経営方針6】

企業が継続的に発展するための、最重要な経営資源は「人」と位置付け、各種の研修や講習を通じ、長期的に社員の技術・能力の向上を図り、将来を担う人材の育成を推進する。



数値目標

	令和1年度 (実績)	令和2年度 (計画)	令和2年度 (見込)	令和4年度 (計画)
売上高 (百万円)	3,165	3,045	2,965	3,565
経常利益率 (%)	8	3	3	7
設備投資額 (百万円)	—	—	—	400※1

※1: R2~R4の設備投資額合計数値

